

自治会	自治会名	半過自治会						
	自治会 拠点住所	上田市小泉3072						
	URL	なし						
	拠点施設名 ※公民館、 自治会館など	半過公民館 及び各地区の集会施設 山口生活改善センター 上半過ふれあいセンター 下半過生活改善センター						
世帯数 該当世帯数に○印	50未満	100以下	250以下	500以下	750以下	1,000以下	1,000以上	
			○					
自治会の紹介 位置や沿革、 成り立ち、 昔話など	<p>位置 上田市の市境に位置し、北は坂城町に接している。上田市の中では標高が最も低い。西側には山が連なり、東側には千曲川、浦野川が流れている。自然に恵まれている反面、昔から災害は多かった。</p>							
	<p>沿革 半過は古来、下半過、上半過、山口の3部落から成り、小泉村の支郷であった。明治22年の市制町村制の施行で泉田村の一部となり、昭和31年に上田市と合併した。</p>							
	<p>地名の由来 半過を「半分過ぎる」という意味にとらえ、昔加賀から江戸に参勤交代する際の間地点であるとか、また諏訪大社と善光寺の間であるということから来ているという説。また千曲川が氾濫を繰り返した為、まるで「半分河」のようだという意味で、「半河」から半過に転じたという説などがある。</p>							
	<p>特徴 当自治会の特徴は何と言っても半過岩鼻の景観である。この奇勝にまつわる民話も多く、「唐猫とネズミ」伝説が有名である。この岩鼻とその裾を悠々と流れる千曲川はかつて日本百景の一つに選ばれ、その記念として山頂に千曲公園が開設された。ここからは上田盆地が一望でき、四季を通して訪れる人が多い。当自治会は千曲公園と登山道の維持管理に貢献している。また、この一帯には特有の動植物の生態や分布が見られるが、近年はハヤブサが営巣していて、これを撮ろうと望遠レンズを向けるカメラマンが多い。</p> <p>岩鼻の麓には上田で唯一の道の駅「上田道と川の駅」があり、一年を通していろいろなイベントが開催され賑わっている。ここからは、眼前に岩鼻、対岸に太郎山、そして東に烏帽子岳が望めて絶景である。ぜひ訪れて</p>							

	<p>頂きたい。</p> <p>参考文献 「ふるさと半過の伝承文化」</p>
<p>組 織 個人名を含まない 組織図など</p>	<p>山口、上半過、下半過の3地区で構成される。隣組は18組。</p> <p>理事者 自治会長、副自治会長、会計</p> <p>執行部 理事者、土木公園委員長、治山国有林委員長、半過分館長</p> <p>代議員 各地区から合計12名選出される。</p> <p>代議員の互選で選出された議長が次年度副自治会長、次々年度自治会長を務める。</p> <p>自治会は代議制で運営される。上記メンバーで構成される代議員会は最高議決機関である。毎月開催される。</p>
<p>主な行事</p>	<p>千曲公園開山祭、千曲公園植樹・整備活動、夏祭り</p> <p>林道維持管理活動、軽スポーツ交流会、環境整備活動、敬老会</p> <p>しめ縄教室</p>
<p>第一次 避難場所</p>	<p>3地区の集会施設</p> <p>山口生活改善センター</p> <p>上半過ふれあいセンター</p> <p>下半過生活改善センター</p> <p>「上田道と川の駅」交流センター</p>
<p>防犯・防災</p>	<p>自主防災隊を組織し、年1回総会を行っている。</p> <p>要援護者支援体制を構築している。</p> <p>管轄消防分団 第7分団</p>
<p>安 全 安協のとりのくみなど</p>	<p>安協泉田支会に所属し交通安全の啓蒙活動をしている。</p>
<p>環 境 資源回収情報など</p>	<p>各地区に担当者を置き、ゴミ集積場の管理、ゴミの減量・分別の啓蒙を行っている。</p>

<p style="text-align: center;">その他</p> <p>分館・育成会・消防・敬老会・AED設置場所など</p>	<p>分館活動 以下の役員で構成される。</p> <p>分館長、副分館長、主事、厚生体育部長、文化部長 人権同和教育推進委員（分館長が兼ねる） 青少年育成委員（副分館長が兼ねる） 小・中学校 PTA 支部長</p> <p>消防 本部に1人、第7分団に3人の団員を輩出している</p> <p>敬老会 75歳以上を対象に実施</p>
---	--